

取り扱い説明書 Ver1.0

Barcodondon + GenerateBarcodes.dll

BarcodeCSharpSample

対応バージョン

Barcodondon.exe	Ver1.0.0.0
GenerateBarcodes.dll	Ver1.0.0.0
BarcodeCSharpSample	Ver1.0.0.0

更新履歴

Ver	日付	更新内容	備考
1.0	2020年4月2日	初版発行	

目次

1. GenerateBarcodes.dll について	3
1.1. 対応バーコード種別	3
1.2. 使い方	3
1.3. 開発環境（動作環境）	3
1.4. 実装の流れ	4
2. バーコードドンドン（Barcodondon.exe）について	6
2.1. 使い方	6
3. Code128 のバーコード文字指定方法	8
3.1. CodeA・CodeB・CodeC のテーブル	8
3.2. CodeA・CodeB・CodeC の設定例	13
4. GenerateBarcodes.dll のリターンコード	14
5. 著作権	15

1. GenerateBarcodes.dll について

GenerateBarcodes.dll は VisualC# で作成されたバーコード作成ライブラリです。

1.1. 対応バーコード種別

① JAN コード

対象文字は 12 桁の数値

1 桁のチェックディジットが自動付加されます

② JAN コード (短縮)

対象文字は 7 桁の数値

1 桁のチェックディジットが自動付加されます

③ CODE39

対象文字は数値 (0-9)、アルファベット大文字 (A-Z)、記号 (-.\$/+%)、半角スペース
設定により 1 桁のチェックディジットが自動付加されます

④ CODE128

コード A・コード B・コード C の各対象文字に対応

1.2. 使い方

UI から作成バーコードを確認できるバーコードドンドン (Barcodondon.exe) とモジュールの使い方の参考としてサンプルコンソールアプリケーション (BarcodeCSharpSample.sln※) が同梱されています。

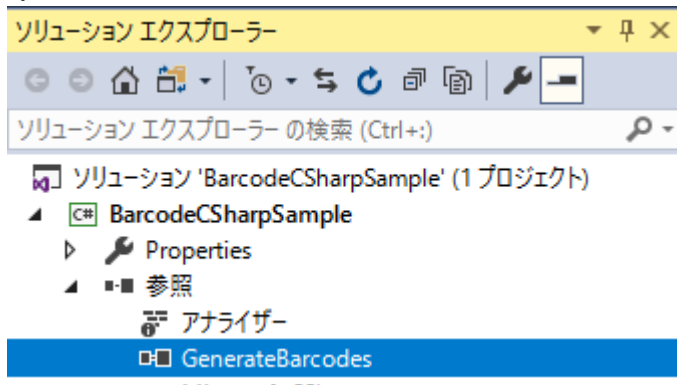
※プログラムの実行には Microsoft VisualStudio2017 が必要です

1.3. 開発環境 (動作環境)

OS	Windows10 64 ビット
フレームワーク	.NETFramework4.5
開発環境	Microsoft VisualStudio Community 2017
開発言語	C#

1.4.実装の流れ

(1) GenerateBarcodes.dll を参照設定する



(2) 名前空間を using する

```
using GenerateBarcodes;
```

(3) 処理を実装する

```
namespace BarcodeCSharpSample
```

```
{
```

```
    class Program
```

```
    {
```

```
        static void Main(string[] args)
```

```
        {
```

① `List<string> bar13 = new List<string> { "490175041295", "453171407022" };`

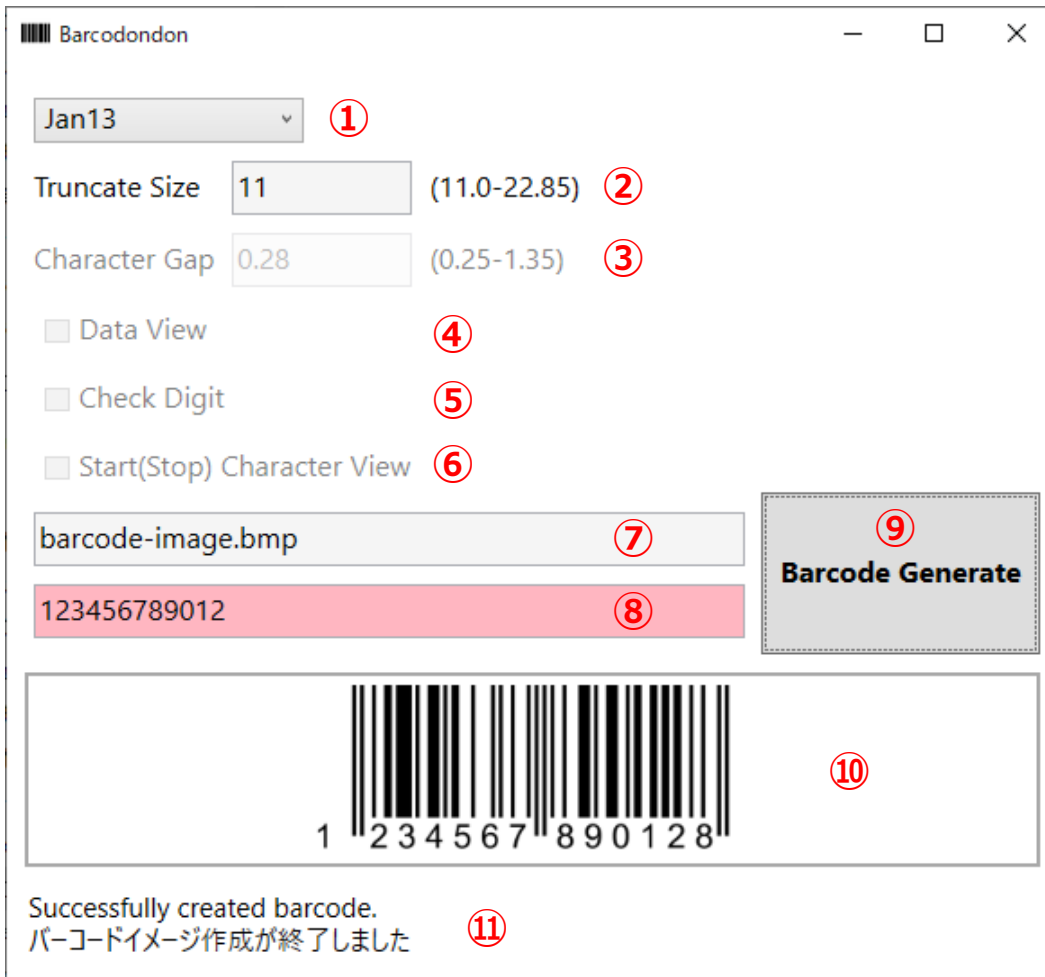
② `//バーコードパラメータ生成`
`BarcodeParam myParam = new BarcodeParam(`
 `"00000000",`
 `System.IO.Path.GetDirectoryName(Assembly.GetExecutingAssembly().Location),`
 `BarcodeKind.Jan13,`
 `true,`
 `true,`
 `true,`
 `11,`
 `1.0,`
 `"sample",`
 `"bmp"`
`);`

③ `GenerateBarcode generateBar = new GenerateBarcode(myParam);`

2. バーコード生成 (Barcodondon.exe) について

バーコード生成は VisualC# で作成された GenerateBarcodes.dll で作成されるバーコードを確認するためのアプリケーションです。

2.1. 使い方



#	設定名称	説明
①	バーコード種別	バーコード種別を Jan13/Jan8/Code39/Code128 から選択してください。選択バーコード種別によりバーコードに指定できる文字が変わります。
②	トランケーション	バーコードの高さを 11.0-22.85 の間で設定してください。Jan13/Jan8 のとき有効です。
③	キャラクター間ギャップ	0.25-1.35 の間で設定できますが特に変更の必要はありません。Code39 のとき有効です。
④	データビュー	チェック On のときバーコードにバーコード文字を表示します。Code39/Code128 のとき有効です。

		※Jan13/Jan8 ではバーコード文字は必ず表示されます
⑤	チェックディジット	チェック On のときチェックディジットを付加します。 Code39 のとき有効です。
⑥	スタート・ストップビット表示	チェック On かつデータビュー On のときスタートビット・ストップビット「*」を表示します。 Code39 のとき有効です。
⑦	出力ファイル名	出力ファイル名を指定します。 BarcodeParam の出力ファイル種別(BMP/PNG/JGP/JPEG のいずれかを設定)により拡張子が自動付加されるため拡張子は指定しなくても問題ありません。 ※出力フォルダはバーコード生成では一律実行ファイルフォルダが設定されます
⑧	バーコード文字	バーコード文字を指定します。 Jan13 : 12 桁の数値 Jan8 : 7 桁の数値 Code39 : 50 文字以内で数値 (0-9) 、アルファベット大文字 (A-Z) 、記号 (-.\$/+%) 、半角スペースを指定 Code128 : コード A・コード B・コード C の各対象文字
⑨	バーコード生成ボタン	バーコード生成を開始します。
⑩	生成バーコード画像	生成されたバーコードの画像を表示します。
⑪	メッセージエリア	メッセージを表示します。

3. Code128 のバーコード文字指定方法

GenerateBarcodes.dll の Code128 は CodeA・CodeB・CodeC のテーブルを持っています。

3.1.CodeA・CodeB・CodeC のテーブル

下記テーブルに従い文字を指定してください。

index	CodeA		CodeB		CodeC	
	設定文字	指定方法	設定文字	指定方法	設定文字	指定方法
0	SP	{SP}	SP	{SP}	00	00
1	!	!	!	!	01	01
2	"	"	"	"	02	02
3	#	#	#	#	03	03
4	\$	\$	\$	\$	04	04
5	%	%	%	%	05	05
6	&	&	&	&	06	06
7	'	'	'	'	07	07
8	((((08	08
9))))	09	09
10	*	*	*	*	10	10
11	+	+	+	+	11	11
12	,	,	,	,	12	12
13	-	-	-	-	13	13
14	14	14
15	/	/	/	/	15	15
16	0	0	0	0	16	16
17	1	1	1	1	17	17

18	2	2	2	2	18	18
19	3	3	3	3	19	19
20	4	4	4	4	20	20
21	5	5	5	5	21	21
22	6	6	6	6	22	22
23	7	7	7	7	23	23
24	8	8	8	8	24	24
25	9	9	9	9	25	25
26	:	:	:	:	26	26
27	;	;	;	;	27	27
28	<	<	<	<	28	28
29	=	=	=	=	29	29
30	>	>	>	>	30	30
31	?	?	?	?	31	31
32	@	@	@	@	32	32
33	A	A	A	A	33	33
34	B	B	B	B	34	34
35	C	C	C	C	35	35
36	D	D	D	D	36	36
37	E	E	E	E	37	37
38	F	F	F	F	38	38
39	G	G	G	G	39	39
40	H	H	H	H	40	40
41	I	I	I	I	41	41

42	J	J	J	J	42	42
43	K	K	K	K	43	43
44	L	L	L	L	44	44
45	M	M	M	M	45	45
46	N	N	N	N	46	46
47	O	O	O	O	47	47
48	P	P	P	P	48	48
49	Q	Q	Q	Q	49	49
50	R	R	R	R	50	50
51	S	S	S	S	51	51
52	T	T	T	T	52	52
53	U	U	U	U	53	53
54	V	V	V	V	54	54
55	W	W	W	W	55	55
56	X	X	X	X	56	56
57	Y	Y	Y	Y	57	57
58	Z	Z	Z	Z	58	58
59	[[[[59	59
60	¥	¥	0	0	60	60
61]]]]	61	61
62	^	^	^	^	62	62
63	_	_	_	_	63	63
64	NUL	{NUL}	'	'	64	64
65	SOH	{SOH}	a	a	65	65

66	STX	{STX}	b	b	66	66
67	ETX	{ETX}	c	c	67	67
68	EOT	{EOT}	d	d	68	68
69	ENQ	{ENQ}	e	e	69	69
70	ACK	{ACK}	f	f	70	70
71	BEL	{BEL}	g	g	71	71
72	BS	{BS}	h	h	72	72
73	HT	{HT}	i	i	73	73
74	LF	{LF}	j	j	74	74
75	VT	{VT}	k	k	75	75
76	FF	{FF}	l	l	76	76
77	CR	{CR}	m	m	77	77
78	SO	{SO}	n	n	78	78
79	SI	{SI}	o	o	79	79
80	DLE	{DLE}	p	p	80	80
81	DC1	{DC1}	q	q	81	81
82	DC2	{DC2}	r	r	82	82
83	DC3	{DC3}	s	s	83	83
84	DC4	{DC4}	t	t	84	84
85	NAK	{NAK}	u	u	85	85
86	SYN	{SYN}	v	v	86	86
87	ETB	{ETB}	w	w	87	87
88	CAN	{CAN}	x	x	88	88
89	EM	{EM}	y	y	89	89

90	SUB	{SUB}	z	z	90	90
91	ESC	{ESC}	{	{	91	91
92	FS	{FS}			92	92
93	GS	{GS}	}	}	93	93
94	RS	{RS}	~	~	94	94
95	US	{US}	DEL	{DEL}	95	95
96	FNC3	{FNC3}	FNC3	{FNC3}	96	96
97	FNC2	{FNC2}	FNC2	{FNC2}	97	97
98	SHIFT	{SHIFT}	SHIFT	{SHIFT}	98	98
99	CODEC	{CODEC}	CODE C	{CODEC}	99	99
100	CODEB	{CODEB}	FNC4	{FNC4}	CODE B	{CODEB}
101	FNC4	{FNC4}	CODE A	{CODEA}	CODE A	{CODEA}
102	FNC1	{FNC1}	FNC1	{FNC1}	FNC1	{FNC1}
103	STARTA	{STARTA}	STARTA	{STARTA}	STARTA	{STARTA}
104	STARTB	{STARTB}	STARTB	{STARTB}	STARTB	{STARTB}
105	STARTC	{STARTC}	STARTC	{STARTC}	STARTC	{STARTC}

3.2.CodeA・CodeB・CodeC の設定例

先頭には必ずキャラクターセットを指定します。

{STARTA}……CodeA でバーコードを生成開始

{STARTB}……CodeB でバーコードを生成開始

{STARTC}……CodeC でバーコードを生成開始

途中でバーコードパターンを切り替えるときは{CODEA}・{CODEB}・{CODEC}を設定してください。

例 1)

{STARTA}987{ACK}{NAK}{SHIFT}XYZ[^_]

CodeA で開始

987+“ACK”+“NAK”+“SHIFT”+XYZ+[^_]



987XYZ[^_]

例 2)

{startb}appleAPPLE{COdeA}{SHIFT}{#\$%&}CDA

CodeB で開始

appleAPPLE

CodeA に変更

“SHIFT”+{#\$%&}CDA



appleAPPLE(#\$%&)CDA

4. GenerateBarcodes.dll のリターンコード

GenerateBarcodes.dll のリターンコードは以下の通りです。
必要に応じてエラーハンドリングしてください。

リターン (BarcodeErrTypes)	内容	Jan13 Jan8	Code39	Code12 8
BarcodeParameterIsNull	バーコードパラメータが未設定です	○	○	○
InvalidBarcodeType	認識できないバーコードタイプです	○	○	○
FailureCheckdigitCreation	チェックディジットの計算ができませんでした	○	○	—
FailureCreateBarcode	バーコードイメージ作成に失敗しました	○	○	○
NoCharactersSpecified	バーコード文字列が未設定です	○	○	○
InvalidNumberOfDigits	JAN コードは 12 桁または 7 桁が有効です	○	—	—
NonNumericValueSet	JAN コードで設定できるのは数値のみです	○	—	—
NonTargetCharacterSpecified	コード 39 の対象外の文字です	—	○	—
CharacterLimitIs50	コード 39 は 50 文字以下で設定してください	—	○	—
StartCodeNotBeDetected	コード 128 でスタートコードが指定されていません	—	—	○
OneDataCharacterFailure	コード 128 で指定文字が見つかりませんでした	—	—	○
NextOneCharacterFailure	コード 128 で指定文字パターンが見つかりませんでした	—	—	○
FailureBarcodeImageOutput	バーコードイメージの出力に失敗しました	○	○	○
UnKnownErrorOccurred	予期しないエラーが発生しました	○	○	○
BarcodeSuccess	バーコードイメージ作成が終了しました	○	○	○

5. 著作権

GenerateBarcodes.dll、バーコードン（Barcodondon）はフリーソフトです。
個人・法人にかかわらず自由に使用することができますが著作権は作者が保有しています。

仕様によりユーザや PC に損害を与えるような機能はないと思いますが、
万が一何かしらの損害が発生しても作者（Sagami-SystemStudio/ウスダナオチカ）は一切の責任は負えませんので
予めご了承ください。
自己責任の上で使用してください。